

2026 年 葬祭ディレクター技能審査 司会〔2級〕

〔注意事項〕

■司会・課題

- ① 一般的な個人葬（仏教式葬儀）において、式次第の順に従い、指定された条件を用いて葬儀・告別式の司会を行いなさい。
- ② 司会作業では、次にどの式次第項目を司会するかを審査官に示すために、当該の式次第項目名（例「参列者入場」など）をその都度、告げてから司会本文を言いなさい。
例「参列者入場（下線部は項目名） お待たせいたしました。ご参列の方は式場内にお入りください（司会本文）」
- ③ 指定された条件を、指定された式次第項目で使用しないときは減点となります。また、指定された条件を、他の式次第項目でも使用することは自由です。
- ④ 「自由課題」では、与えられた条件に「弔電」「閉式」の指定課題の文に含まれる要素を加えて、まとまりのある文章にして読み上げることが求められています。条件として与えられた要素のほかに、指定課題から抽出した適切な要素を1つ以上加えて読み上げなさい。
- ⑤ 「指定課題」では、課題として与えられた文章を、内容を理解したうえで、1語たりとも変更しないで、正確に読み上げなさい。
- ⑥ 式次第項目と式次第項目との間では、インターバルをおかず、続けて司会作業を行いなさい。

■準備

- ① 「準備開始」の指示があったら、問題を見て準備しなさい。
- ② 準備時間が5分与えられます。
- ③ 準備時間中に問題用紙にメモを記入することができます。

■作業試験

- ① 審査官はお客様、あなたは葬儀の担当者という立場で与えられた条件により作業を行いなさい。
- ② 試験時間は4分です。
- ③ 司会作業が制限時間内に完了しないときには減点となります。
- ④ 司会作業は、立って、行いなさい。
- ⑤ 司会作業を始めるとき、終了したときは礼をしなさい。
始めるときには「始めます」、終了したときには「終わります」と審査官に告げなさい。
時間中に終了した場合、座りなさい。制限時間がくるまでの態度は評価の対象となります。
- ⑥ 司会作業中、問題用紙を見て作業をしてもよいですが、終始下を見ながらの作業は減点になります。
- ⑦ 審査官は、試験中は指示・説明・注意・受験者からの質問への対応等は一切行いません。
- ⑧ 終了が告げられたら作業を中止しなさい。

〔注意〕 この問題用紙は司会試験終了後、審査官に返却しなさい。

受 験 番 号	
氏 名	

条件

※【 】で示されているのが、使用を義務づけられた式次第項目です。

1. 【参列者入場】

(開式時刻) 午前 10 時

2. 【導師入場】

(導師) 浄土真宗本願寺派 西建寺 (さいけんじ)

住職 大場 覚真 (おおば・かくしん)

3. 【開式】 ※自由課題

(故人氏名) 野口 フェルナンド 高雄 (のぐち・ふえるなんど・たかお)

(死亡月日／年齢) 11 月 18 日／57 歳

4. 【弔電】 ※指定課題

「練習中に舞い込んだ悲報に、チームの全員が茫然としています。多忙なお仕事の合間を縫って 15 年間にわたりボランティアでコーチを務めて頂き、昨年の地区大会で優勝するレベルにまで導いて下さったのはナンド先生のおかげに他なりません。ブラジルから単身で海を渡り、ご苦労も多々あったと思います。どうぞ安らかに憩われますように。東西サッカースポーツ少年団 保護者会一同」

5. 【喪主挨拶】

(喪主氏名／続柄) 葛城 玲子 (かつらぎ・れいこ) ／長女

※焼香時には続柄の省略可

6. 【閉式】 ※指定課題

「以上をもちまして、野口フェルナンド高雄様の葬儀ならびに告別式を終了させていただきます。故人は 40 年前にブラジルから日本に移住し、様々な困難を乗り越えて実業家としての地位を築かれました。また、少年サッカーチームのコーチとしても「ナンド先生」の愛称で多くの方から親しまれていましたが、去る 11 月 18 日に逝去されました。お別れの準備をさせていただきますので、しばしロビーにてお待ちください。ご参列、誠に有難うございました。」

式 次 第

式次第項目	メ	モ
参列者入場		
導 師 入 場		
開 式		
読 経		
焼 香		
弔 電		
読 経		
導 師 退 場		
喪 主 挨 拶		
閉 式		